

灘校折り紙サークル

折on

第78回灘校文化祭 ODYSSEY

## 表紙説明

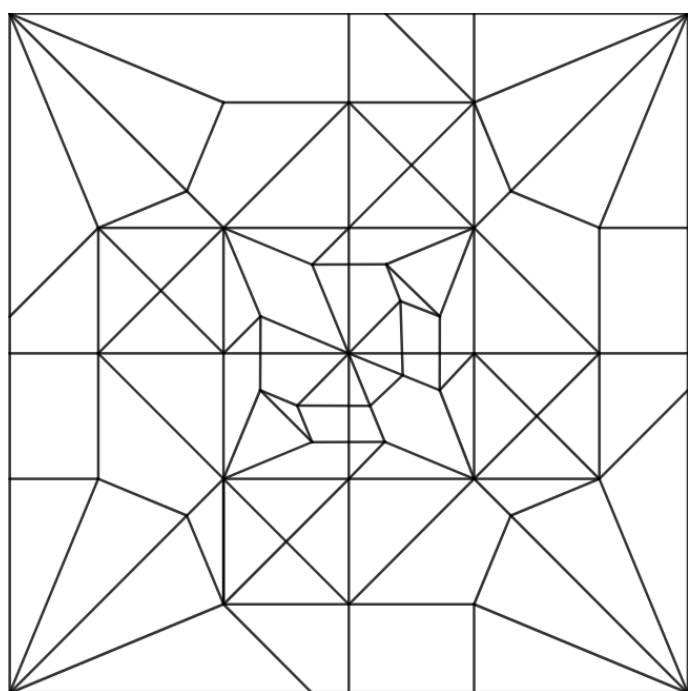
作品名 文化祭サークルロゴ

創作:折り紙えもん

制作:折り紙えもん

不切正方形 1 枚

表紙の作品は、急遽僕(折り紙えもん)が作ったものです。~~表紙のデザインが部誌の提出締め切りの 2 日前くらいまで何も考えておらず、ふと「今年のロゴ折ればいいか」と思いつき、折りました。~~来年は部員みんなでおろうと思います。下の図は表紙の背景に使ったこの作品の展開図です。



# もくじ

1.ご挨拶	…3
2.作品紹介	…5
2-1.ゆうや	…5
2-2.なお	…6
2-3.ると	…7
2-4.わーこー	…8
2-5.りょーたりー	…9
2-6.蕎麦	…10
3.部誌	…12
Ao	…12
いでなお	…14
折り紙えもん	…17
イカソーメン	…20
4.あとがき	…26

# 1.ご挨拶

皆さん、こんにちは。そして初めまして!灘校折り紙サークル『折 on』初代サークル長の、折り紙えもんです。な、なんと!!ついに!!灘校にも折り紙サークルが誕生しました。おめでとう!本日を機に「灘校には折り紙サークルないよねw」「K成、T駒、T大寺にはあるのにねw」なんてことはもう言わせません!ここではまえがきとして灘校折り紙サークルの誕生秘話を、いろいろ書きたいと思います。ぜひぜひ、読んでください!

(ちなみに、あとがきは会計担当の蕎麦くんが書いてくれているので、ぜひ最後まで読んでください)

## 1-2.サークルができた経緯

サークル長の僕は小学生のころから結構、いや、かな〜り折り紙が大好きな少年でした。なので、灘校に入ったとき父から「折り紙サークル作ったら?」と度々言われていました。が、当時は『サークルは作りたいけど、めんどくさい』みたいな感じで流していました。そんな感じで2年半ほど過ぎたころ、ある日突然、バスケット部の友達(現副サークル長の蕎麦君)に「折り紙サークル作らへん?」と言われたんです。内心驚きながらも「まあ、作ってはみたいけどね〜」と普通に返事をしたら…。な、なんと!その翌日に蕎麦くんが文化委員に連絡を入れていました。さらに、3日後には同じことを考えていた81回生(当時中1)と3人で折り紙サークルを設立していました。灘校のシステムと蕎麦くんの素早い対応に驚きです。そこからとんとん拍子で部員も増えていきました。ではなぜ、灘校折り紙サークル設立の立役者である蕎麦君がサークル長ではないのか?ここだけの話ですが、実は蕎麦君、設立当初は紙を半分に折れなかったんですw(編集注…B4の紙をB5サイズに折るのが特に苦手です。)

## 1-3.顧問

灘校 折り紙サークルの顧問は、僕が所属しているバスケット部の顧問でもある河内一樹先生です。数学担当で、土曜講座(年に数回ほど行われる、外部の方を含む特別講師の方が灘校で行う講座)では「オリガミクス」という講座をされているなど、折り紙に関心を持っている方です。河内先生は僕たちが顧問の先生を探し始めてすぐに、二つ返事で受けてくださいました。本当にありがとうございます!

## 1-4.ロゴとサークル名

サークルのメンバーがそろってきたころ、サークル名を考えはじめました。サークル名に「折り紙」と「灘」要素を入れたいい感じの英語みたいなやつを目指していて、実はラテン語の辞書を引っ張って来たりもしていました笑。その時に「orion」という案が出たんですが、後付けで「ORIgami Of Nada」の略称になっていることに気づいたんです(あ、僕がねw)。そして、これをもとにロゴを考えていた時に、インパクトが足りないということで「ori」を漢字にして【折on】に決定しました。ロゴはこのサークル名を参考に、みんなで案を出し合って決めました。なんやかんやロゴとサークル名にむちゃくちゃ時間使ったし、大変でしたが、それに見合った良いものができたと自負しています!

## 1-5.大型作品

大型作品と題したものの、この部誌を書いている現時点ではまだ大型作品の制作を開始していません。なので、制作に至る経緯だけここではお話しします。

まず、折り紙サークルと言ったら大型作品というイメージが僕の中ではありました。とはいえ、サークルのメンバーの誰も大型作品など折ったことはなく、誰一人として作り方がわかりません。そこで、僕は奈良にある東大寺学園の折り紙研究部さんにお話を伺いました。丁寧にいろいろと教えてくださったので非常に助かりました。本当にありがとうございます!

大型作品を折るにあたって、作品決めにも悩みました。どのような作品が向いているかわからないのか、折りやすいのか折りにくいのか、展示しやすいのかしにくいのかなどなどいろいろ考えた結果、井上岳哉さんの「ゴジラ」に決定しました。この文章を書いている僕は、まだ大型作品に取り掛かっていません。本当にちゃんと完成できたのか?? 今からとても楽しみです!

## 1-6.最後に

今回初めての部誌なのですが、多くの部員が書いてくれました!ぜひ最後まで読んでみてください!

## 2.作品紹介

### 2-1.ゆうや (81)

#### ・暫(鎌倉源五郎景政)

創作:北條高史

制作:ゆうや

使用した紙:写真…ホイル折り紙 53cm 四方

:展示…ビオトープ GA-FS 60kg 79cm 四方

北條高史さんの暫です。長らく折り図がなかったのですが「北條高史折り紙集」に嬉しいことに折り図が掲載されました。部誌を描いている時点では文化祭に出す作品がまだ完成していないので、1年くらい前に折ったものを載せています。なので紙が破れていたり、歪んでいたりしているのですが、文化祭にはしっかりしたものを出そうと思っています。白黒だと頭部が本当に見にくいと思うので、頭部だけの写真も載せておきます。



#### ・有翼の麒麟

創作:神谷哲史

制作:ゆうや

使用した紙:洋紙 35cm 四方

神谷哲史さんの有翼の麒麟です。灘校の図書館にある「超絶の折り紙」に載っていたので折ってみました。神谷哲史さんの作品は1回目におった作品では満足出来ない事が多いのですが、この作品に関しては1回目からそこそこのものが折れたと思っています。首の蛇腹の部分が、本当に気に入っています。





## ・ケンタウロス

創作:北條高史

制作:ゆうや

使用した紙:洋紙 26cm 四方

北條高史さんのケンタウロスです。暫と同じく「北條高史折り紙集」からの作品です。

左手に盾、右手に斧を持っています。ケンタウロスには弓矢や槍を持っているものや足、頭の仕上げ方が違うものが多数存在するので気が向いたら文化祭に出そうと思います。



## 2-2.なお(81)

以下二つの作品は同好会があると知って作った作品です。

## ・豆柴

創作:荻原 元

制作:なお

一つ目は可愛い豆柴です。僕は今回これを作ってかなり気に入っています。ずれがほぼなく、立体感が出ていてとても良い作品だと思います。色は奇抜になりましたがそれも良いです。



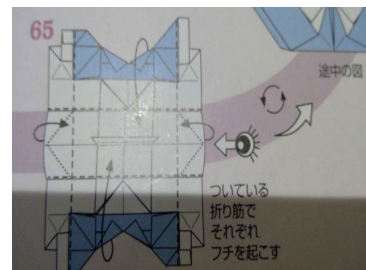
## ・箱ティッシュ

創作:谷田尚之

制作:なお

二つ目はユニークなアラカルト作品です。見た目は簡単そうですね。真ん中のティッシュ

シュのところがあればかなり簡単になるのですが、一枚でティッシュ部分も作るので難しくなります。またティッシュのしわの再現も見せ所となります。



「至高の折り紙」p67 か

## 2-3.ると(81)

### ・仏像

製作者:ると

創作者:北条高史

紙の種類:おりがみ用紙

紙のサイズ:45cm 四方

紙の枚数:1 枚

この作品は前川さんの五本指と西川さんの手のひらが使われています。さいごの仕上げであり、この作品のモットーでもある「折り紙でつくることの意味」という立体的にみせるというのがむずかしかったです。特に手の位置を調整するのが難しいと感じました。



### ・バイオリン奏者

製作者:ると

創作者:北条高史

紙の種類 折り紙用紙

紙のサイズ:40cm 四方

紙の枚数:1 枚

この作品は蛇腹折りでつくられています。蛇腹折りは角を多く出すときによくもちられるのですが、この作品の場合は違います。蛇腹を使うことでバイオリン奏者の衣装を表現しています。

この作品はハリのあるかみで折るのが良いと思います。紙を40等分しておっています。折すじをつけているときは大変でしたが。折りたたむのがきれいにできて気持ちよかったです。これは蛇腹特有のものだと思うので良かったたら蛇腹を使った作品をおってみて下さい。





# ペガサス

製作者:ると

創作者:福井久男

紙の種類:おりがみ用紙

紙のサイズ:45cm 四方

紙の枚数:1 枚



この作品はアヤメの基本形や鶴の基本形を組み合わせてつくった基礎折りが工程の大半を占めています。複雑なおり方などは特になく、楽しく折り紙として折り進められた気がしました。ですが、足の部分はかなり紙がかさなってしまう、分厚い紙で折ってしまうとかなり足が太くなり、不格好になるだけでなく、折り進められなくなってしまう可能性があります。折るときはある程度のハリのある紙がいいですが、なるべく薄い紙で折るのがよいと思います。

## 2-4.わーこー (80)

### ・ひな人形

創作者:山口真

制作者:わーこー

紙のサイズ はかま、着物外側 7.5×7.5cm2 枚

着物内側 7×7cm1 枚、顔 2×2cm2 枚

出典… 著者:山口真「決定版!日本のおりがみ 12 か月」ナツメ社



私は 7.5×7.5 四方をベースとしたミニチュアサイズの作品を折るのが好きです。この作品は袴で 1 枚、着物で 2 枚、顔で 2 枚の折り紙を使っています。2×2 の折り紙を折るのに非常に苦労しました(笑)。時間があればひな壇も作ってみようと思います!(写真では箱のふた)

## ・ひまわりの花

創作者:山口真

制作者:わーこー

紙のサイズ 芯 7.5×7.5cm 花びら 3.75×3.75cm×8

枚葉っぱ 3.75×3.75cm×2 枚茎 7.5×2cm

出典… 著者:山口真「決定版!日本のおりがみ 12 か月」ナツメ社



これも先ほどと同様、数枚の折り紙を用いた平面作品です。こちらは花びらを 8 枚折るときに心が折れかけました。普段私は折り紙を折るときは楽しく折っていますがこの作品を折ったときは、かなり苦しい思いを強いられました。それでもやり切り、完成した時はかなりの達成感を得ることができました!

## 2-5.りょーたりー(81)

### ・ヘラクレスオオカブト

今までたくさんの昆虫の折り紙を折ってきましたが、その中で一番うまくできた作品がこれです。基本は茶色のカラペですが、翅になる部分にだけ折り紙用紙をはって折りました。なので写真には二枚と書いてありますが実質一枚です。ツノ、触角などを割と丁寧に再現できたのでお気に入りです。



創作:神谷哲史 製作:りょーたりー  
カラペと折り紙用紙 約60cm四方 二枚

## ・八咫烏

「やたがらす」と読みます。日本神話などに登場する、なんと足が三本のカラスです。この作品は構造が好きです。展開図を見ると、上側が左右対称、下側が左右非対称になっています。そしてその下側にできる 4 つのカドに尾と三本の足が配置されています。このような類の構造は僕が折ってきた作品の中では初めてで、きれいだなと感じました。ところで、この八咫烏、サッカー好きの人なら知っているのではないのでしょうか。実は日本サッカー協会のシンボルマークであり、サッカー日本代表のユニフォームにも描かれているあの鳥が八咫烏なのです。なぜサッカーが八咫烏なのかなどが書かれた web ページを下に載せておきますので是非チェックしてみてください。灘校に深い関係のある嘉納治五郎先生の名前も!?

([ヤタガラスが日本サッカー協会のシンボルになった理由 - ケアニュース by シルバー産業新聞 | 介護保険やシルバー市場の動向・展望など幅広い情報の専門新聞 \(care-news.jp\)](#))



## 2-6.蕎麦

下の二つはともに『神谷哲史作品集 1995-2003』より

### 1.黄色い鳥

創作:神谷哲史

制作:蕎麦

使用した紙:写真…薄葉紙

展示…ファーストビンテージ(イエローオーカー)

初作品です。ゲームのファイナルファンタジーに登場するキャラクター、チョコボがモデルのようです。かつてファイナルファンタジーをプレイしたことがあり、当時からチョコボが大好きだったので折ってみました。足を折る部分で初めて沈め折りを経験しかなり苦戦しましたが、サークル長に教えてもらい、数時間か



けて何とか出来ました。そこ以外はわかりやすかったです。何はともあれ可愛いです。たくさん作って並べたくなります。何回修正しても自立せず倒れてしまいますが、それもまたよし。可愛いので問題ありません。

## 2. 白鳥離水

創作:神谷哲史

制作:蕎麦

使用した紙:写真…薄葉紙

一作品目を鳥にし、せっくなので次も鳥にしようということで二作品目は「白鳥離水」です。これは白鳥が水面から飛び立つ様子の作品ですが、白鳥だけでなく水面まで1枚の紙で表すことができるのかと驚かされました。折り紙ってすごいですね。見た目から鶴と同じくらいの難易度と高を括っていましたが意外に難しかったです。翼の躍動感を出せるよう頑張りました。黄色い鳥と同様に沈め折りに苦しめられましたが何とか折ることが出来ました。沈め折り許すまじ。



# 3.部誌

## 意外と簡単!?!立体作品二種

79 回生 Ao

### 1.川崎ローズ

バラで立体といえばこの作品でしょう  
やはり、なんといっても見栄えがいいんですよね  
上から見てきれいなのはもちろんプラスで下の部分がコンパクトにまとまっているからより美しい。そんな川崎ローズ、とても複雑そうに見えるんですが思ったより簡単なんです!低部成形のところなど少〜し難しいところもありますが2、3回やったら慣れるでしょう  
このバラの作品何がいいかというとシンプルに折り紙でできる雰囲気を出せます(笑)  
見栄えがとてもいいので作り終わった後の達成感といえばそれはもう…  
ぜひ、作って周りの人に自慢しましょう!!  
創作:川崎敏和 製作:Ao



### 2.蓮

次は本当に本当に簡単なものを紹介します  
まずはこちらをご覧ください。どんな印象を持たれたでしょうか?「さっきのバラのほうが凄くね?」皆さんそう思ったと思います、まあ僕もそう思います。では僕がこれを紹介している理由は何でしょう。それは簡単に言えば、川崎ローズに手を出せなかった方、やってみただけで折れなかった方への救済措置です。川崎ローズも簡単とはいえ、一回も折り紙したことない人などにとっては難しいかもしれません。しかし、これは必要な



創作:AyaWangPaper 製作:Ao



ものさえそろえれば誰でもできます。オススメポイントとしてはこれは川崎ローズ以上にコスパがいいです。※ここでのコスパのコストは労力を指す。スーパー簡単なわりに結構イケてるのでぜひおってみてください。コツは折り紙の模様で周りと差つけることです!!

### 3.最後に

立体の折り紙に対して難しそうというイメージを持っている人は少なくないと思います  
しかし、いざやってみると意外と簡単だったりします

紹介したのはほんの一部ですが、これらを筆頭に沢山折ってもらえれば嬉しいです  
ぜひ家族や友達、好きな人(周りと差をつけれるかも!?)にプレゼントしてあげましょう!

# エンシェントドラゴン

79 回生 いでなお

## 作品紹介「エンシェントドラゴン」

創作者:神谷 哲史

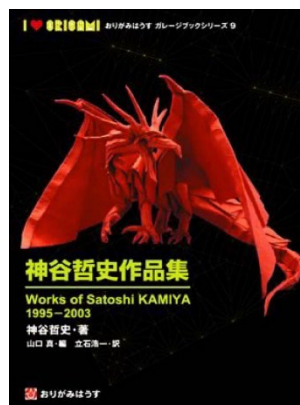
折り手:いでなお

使用した紙:薄葉紙 /1 枚

出典:神谷哲史作品集

紙のサイズ:75cm

(参考:神谷哲史作品集)



神谷作品を代表する、折り紙界では非常に有名な作品です。

こちらは神谷さんが過去に「テレビチャンピオン」という番組の「第 3 回折り紙王選手権」の決勝戦で披露したものです。この作品で見事に優勝を果たしました。そろそろよ。

背中に生えた大きな翼、今にも物を掴みそうな手足の指、立派に生えそろったツノ——。

どこを切り取ってもマジでカッコよすぎる! 筆者も一瞬でこの作品に惹かれました。

カッコいいこの作品ですが、274 工程という長い工程の中で、沈め折りが何度も登場したり、細かい蛇腹折をする場面があったりなど、制作難易度は非常に高いです。

筆者も昔から憧れていましたが、一般的な紙では折るのが難しいこともあり、今回の制作が実質初挑戦です。ですが執筆時点(3月)ではまだ完成していません、というかまだ紙すら入手してません。本当にちゃんと完成するのか? まぁなんとかなるやろ。知らんけど。

さらにこの作品は折り終えてからも難関があります。というのも、仕上げがめっちゃ重要なんです。ここをきちんと行わないとせっかくのカッコいいドラゴンが映えません。

最後まで気を引き締めて折りましょう! 出来たらマジでカッコいいです。

## ハリネズミ

79 回生 いでなお

### 作品紹介「ハリネズミ」

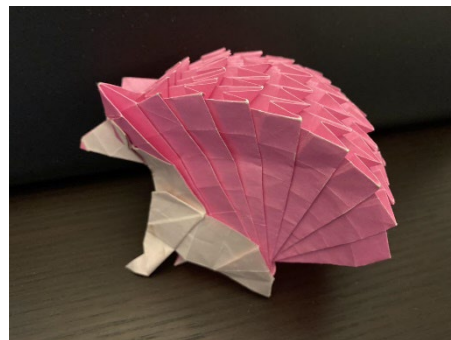
創作者:今井 雄大

折り手:いでなお

使用した紙:折り紙用紙 /1 枚

出典:新世代 至高の折り紙

紙のサイズ:35cm



京都大学・折り紙サークル「いまじろ～」の創設者である今井雄大さんが創作したものです。僕も大好きな作品で、昔よく折ってました。めっちゃ懐かしい。  
制作の難易度はそこまで高くないですが、**背中のトゲの表現がとても美しく**、折り紙の造形の奥深さを知れる素晴らしい作品です。

-----

----

作品の制作はまず紙を縦横に 32 等分するところから始まりますが、これが**結構大変**なんです。これだけで 1 時間ぐらいかかります。地味な作業にも見えますが、ここを丁寧にやらないとせっかくの美しい造形がきれいに見えなくなってしまうので、折り筋はきちんとつけるようにしましょう。また、そこそこ大きさのある紙で折らないと折り筋がめっちゃ細くなるので小さい紙はおすすめしません。

-----

----

この作業を乗り越えればあとはそこまで難しくありません。  
また、折り終えた後に足の部分を糊付けしたり、背中が開かないようにしたりと仕上げにこだわるとよりきれいに見えます。ぜひこだわってみてください。

## あとがき

部誌を読んでいただきありがとうございます。  
ついに灘にも折り紙サークルができましたね。せっかく折り紙の部誌を書く機会があったということで、いろいろと自分の折り紙ライフを振り返ってみようかなと思います。

-----

-----まず筆者が最初に折り紙を始めたきっかけは、小学 5 年の頃友達に切り絵をやろうと誘われたことだった気がします。切り絵で遊んでいて気づいたら折り紙をやってたんですね…(笑)

そこから折り紙にドハマりして、休み時間とかはその友達とかとずっと折ってた気がします。とにかくいろんな本に載っている図を折りましたね。特に思い出深い作品は、「本格折り紙」(前川淳・著)に載っている「**悪魔**」という作品です。複雑系折り紙への関門とも呼べる作品ですが、当時の僕には高すぎる壁でした。これが当時全然折れずにめっちゃめっちゃ苦戦しました。一体何枚の紙が散ったことでしょう。ですが、何度も挑戦するうちに、形はボロボロですがなんとか完成しました。翌日ウキウキで友達に見せたあの日の気持ちは忘れられませんね。

-----

-----

そんな感じでいろいろな作品を追っていたのですが、ずっと思っていることがありました。それは、灘に「折り紙サークル」みたいなものがないのかな…ってことです。この学校には折り紙が好きで、筆者のようにみんなで折り紙を楽しみたいと思っている人も多いはずです。

…がしかし、今年ついに折り紙サークルができたではないかっ!!ということでとりあえず入ってみました。これからはとにかく折り紙を楽しもうと思っています。  
作ってくれたサークル長さんたち、本当にありがとう!

-----

-----

さて、皆さんはどうでしょうか。きっと折り紙が大好きだという方や、普段はそこまで触らないよという方など、いろんな方が読んでくださっているはずです。  
折り紙は紙さえあればだれでもできる簡単な遊びです。ですが、突き詰めれば、**人の心を動かせる素晴らしい作品だって折れます**。文化祭で展示しているような作品もそうだといいな。そして、折り紙を始めるのにきっかけは必要ありません。筆者も何気ない友達の一言から始めていますからね。普段折り紙を触らないよという方も、ぜひ紙を手にとって、折り紙の世界への旅に出てみてください!もしかしたら筆者のように沼にハマってしまうかもしれません。  
さて長くなってしまったのでこころへんで僕の部誌は終わります。  
改めて、読んでいただきありがとうございました。  
他のサークル員の部誌・展示作品もぜひご覧ください!

# 面白い折り紙作品たち

## 79 回生 折り紙えもん

こんにちは！灘校折り紙サークル長の折り紙えもんです。当初、僕の部誌ではつらつらと自分の作品を紹介するつもりでしたが、さすがに初めての折り紙サークルの部誌でそれは面白くないと思いました。なので、この部誌をお読みいただいている皆さんに『折り紙って面白い!』と楽しんでもらえるような作品を紹介していきます。

### 1:有名折り紙作家さんの作品のご紹介

ここで紹介するのは、(僕的には)難易度がそれほど高くないものの、日常で誰もが目にする物や瞬間をリアルに表現した折り紙作品です。これを見た皆さんが「それ折り紙で折るか〜w」「こんなの折り紙で折れるんだw」と、思わず笑ってしましそうな作品を集めてみました。コンプレックス折り紙は複雑さや奇抜さに魅了されがちですが、「これを折ろうと思った着想がすごい!!」っていう作品に出合えるのも魅力の1つなんです

※以下にご紹介する画像はすべて、折り紙作家さんの創作作品を僕が折っておっています。

#### 1-1.箱ティッシュ

もちろんですが 1 枚で作られたものです。ティッシュペーパーと箱の部分は別々で折ってる?いいえ、どの部分も 1 枚でくっついていきます。コンプレックス折り紙は「1 枚の紙を」「切らずに」折るのが基本。この作品も 1 枚の紙を切らずに折っています。これは折り紙好きなら一度は折ったこともあるはず!っていうくらい有名な作品です。なんなら、僕の母も折っていました笑。ちなみに、一般的な 15×15cm の折り紙で折ると 5cm ほどのサイズになるので、実物大の箱ティッシュを作りたい場合は計算上、55×55cm の折り紙で折ることができます。





## 1-2.非常口

これも、発想がむちゃくちゃいいですね。誰もが見たことあるのに、意外と折られていない。当初、ブース教室の扉や壁にこれを張ろうと思ったのですが、さすがにやばい気がしたのでやめました。こちらは平面作品なので、他の立体作品に比べると折りやすいと思います。個人的なインパクトは箱ティッシュよりも大きく、「こんなの折れるのかw」と思わず笑ってしまいました。



作品名 非常口  
創作 森末圭  
制作 折り紙えもん

## 1-3.たまご

この作品は卵を割った瞬間という一味違ったものを折り紙にしています。見た目は非常にリアルですが、折り方はいってシンプルです。しかし、卵の割った後の殻など、最後の仕上げが意外と難しく手が込んでいます。ちなみに、この作品の作者である宮本宙也さん、なんと X(旧ツイッター)で僕たち灘校折り紙サークルのことを紹介してくださったんです!ありがとうございます!



作品名 たまご  
創作 宮本宙也  
制作 折り紙えもん

## 2.僕もオリジナルを折ってみたよ!

ここでは僕、折り紙えもんが創作した作品をご紹介します(上記の作品を紹介した後なので気後れしますが、何とか勇気を出してw)

### 2-1.バッグクロージャー

僕の一風変わった創作の1つ「バッグクロージャー」です。名前だけ聞いたら何かわからないかもしれませんね。まずは、お手元のスマホでググってみてください。そう、食パンについてる”アレ”です。僕は折り紙で何を折ろうか考えているとき、母に「何折ってほしい?」とよく聞くんですが、大抵意味のわからない答えが返ってきます。しかし、ある日『バッグクロージャーはどうよ?』という珍しくいい案が返ってきたんです(笑) ぱっと見、それっぽく見えますが、実物



作品名 バッグクロージャー  
創作 折り紙えもん  
制作 折り紙えもん

と比べると凹凸の位置が違ったり、サイズがおかしかったり、角が丸くなかったりと、いろいろぼろがでできます。

## 2-2.意外と難しいんか〜い!!(折り紙マニア向け)

最初は簡単だと思ったんですが、実際に折ってみると想像以上に難しかったです。バッグクロージャーは U 字型に加えて先端が内側に曲がっていますし、周辺にいくつもの凹凸がついています。しかも、その凹凸は単純な形ではなく、絶妙に上下で違う形をしてるんですよね。これを表現しつつ、全体の形を作るのに非常に苦労しました。結局、凹凸の部分は「斜めに 2 回折るだけ」というシンプルな作りにしたのですが、その分、先端(上部)が複雑になってしまいました。他にも、中の空洞のサイズの割合適当なんですよ笑。一応目標とする比率はあったのですが、折り方がよくわからなかったので何となくで折ってます。イカソーメンさんの部誌を見て僕も展開図出そうと思ったんですが、展開図を書くソフトがなかった(書くのがめんどくさかった)ので諦めました。折り紙ソフトはいずれ入手するつもりなので、その時に書こうかなと思います。

## 3.さいごに

初代灘校折り紙サークルの長として部誌が書けるというのは、実に感無量です(涙)。蕎麦君、部員みんな、本当にありがとう!初めての部誌なので、普通過ぎてつまんないし、折り紙を語りすぎても皆さんに引かれてしまうので加減が難しかったのですが、ゆくゆくはもっとたくさんの折り紙愛を書いていきます。灘校折り紙サークルはまだまだ出来立てホヤホヤですが、どんどん進化してく予定なので、何卒よろしくお願いします。

では、来年も乞うご期待!

# 見て、イカが踊っているよ!かわいいね

## 78 回生 イカソーメン

### 1.はじめに

どうも初めまして、イカソーメンです。このたび折り紙サークルが設立されると聞いて即刻飛びつき今に至ります。そもそも自分が灘校に入った理由の一つが「折り紙部に入りたい、無ければ作りたい」でしたからね。無かったのが不思議なくらいなんです。これだけニッチな趣味に特化した人間が多くいる学校で、万人が知る折り紙という娯楽に長けた人物がいないなんてことがあるだろうか、いやない(反語)。でも言ってみれば自分は灘校折り紙サークルの初代メンバー(?)なわけで、ラッキーだとも思っています。ちなみに灘校の学校図書館には神谷哲史作品集があります。発見した時は変な声が出ました。

そんなわけで次からは(部誌を書いている三月現在)文化祭で展示(を予定)している作品の詳細を書いていこうと思います。良ければ読んでいってください。

24.3.14

### 2.伝令

この作品は自分にとってかなり思い入れのある作品で、書店で試し読みした本で出会って「作りたい!」と思ってからもう四年になります。

見てくださいよ、このかわいさ!白黒では伝わらないので是非ググってカラーで見てもらいたい、何を隠そうこの天使、めっちゃかわいいんです。細かく見ていきましょう。

まずは頭上のリングです。折り紙作品で頭上にリングがあるものは実は結構レアで、コンプレックス折り紙と称される所謂高難易度折り紙でも滅多に見ません。ざっくり言うと、リングをつけると作品全体を設計するうえで制限がかかってしまうからです。ハサミを使うなら別ですが……。この作品では正方形の貴重な四つカドの1つを割いて折り出しています。作者のこだわりが感じられます。自分も頭上にリン



作品名:伝令  
折り手:イカソーメン  
用紙:薄葉紙  
原作:上園太一  
出典:難しいから面白い!東大折紙  
(Orist/マガジンハウス)

グがある作品はこれ以外に記憶になく、それだけに初めて見たときは「リング!!リングある!!天使!!かわいい!!!」と興奮しました。かわいいですね。

次は顔です、髪のリボンがかわいいですね。少年のような愛らしい顔立ちをしています。ちょっと傾げた首がにこい、あーかわいい。

続きまして羽です。「折り紙 天使」とかググるとクソデカ羽を細かい羽毛でびっしり埋めた作品がいっぱい出てくるのですが、それと比べるとあっさりした仕上げで、どちらかというドラゴンのそれに近いです。ブルアカでいうとアズサくらいのサイズですかね。ミカほどデカくはありません。透き通るような薄さが美しいですね。羽を広げるというよりは自らの身体を守るようにとりまいている羽が、儚さというか神秘性を醸しています。かわいいですね。

それから手です、よく見ると比較的シンプルにリボンされているこの作品の中でも、指は一本一本しっかりと折り分けられています。傾げた首の口元にそっと添えているのがあざといですね。袖のダボッと感とかも感じられます。胸当てをつけているようにも見えますね。流石は天使です。

そしてスカートです、ふんわりとした衣は短い髪と併せて中性的な雰囲気を感じさせます。天使に性別はないので、伝承通りということでしょうか。

最後は脚です。すらっと伸びた脚がきれいですね、ふくらはぎのあたりも、うーん良いですねえ。

と、ここまで「伝令」の素晴らしさを自分の妄想とともに紹介しました。フィギュアにアツくなる諸兄姉の気持ちがわかったような気がします。

次は実際に折るにあたっての話をしようと思います。

さて早速かなしいお知らせなのですが、実はこの作品、折り図が存在しません。おたがッて!? 創作折り紙をよくご存知の方ならもうお分かりですね、そうです、展開図折りです。自分はてっきり折り図、少なくとも説明やヒントがあるものと思って本を購入したのですがそんなものカケラもありませんでした。キレそうです。

知らない方のためにざっくり説明すると、展開図とは完成した折り紙作品をもどして広げたときについている折り筋を記録したもので、その折り筋を手持ちの紙にうつし取ってその通りに折ると完成形の作品になる、という寸法です。折るにあたって「この山折りは上に重なるよ」とか「ここは畳むと三角形になるよ」とか「ここはこの半分の長さだよ」とかは書いておらず、場合によると「ここは山折りだよ」という指示すら書いていないこともあるので、もちろん難易度は折り図を見て折る時に比べて高いです。

そんなわけで初めての展開図折りが見るからに難しそうな天使ちゃんになってしまったイカソーメンのチャレンジが始まります。

まずは展開図を解析する作業に入ります。展開図を別の紙にうつし取ると言っても定規で測ったりコピーしたものを折ったりすればいいというものではなくて、正方形を基準にして「作図」できるようにしなければなりません。……ぶっちゃけコピーしたものを折る方がラクだし簡単に形になるのですが、作品のサイズ調整ができない、印刷の線が作品にはしって見栄えが悪い、コピー用紙は折り紙に向かないなどの欠点がありましてできる限り避けたいです。

とはいっても、いくつかの重要な基準点がわかればそれを基準に半分に折ったり垂直に折ったり半分に折ったり半分に折ったりすることで全体の折り線をつけることができるので、この基準点を見つけるという作業がメインになってきます。

そして、苦闘の末自分が発見した基準点が次ページの右上です。もう見せちゃいます。多分著作権とかに引っかかるので伝令の展開図全体は載せられないのですが、展開図を持っている人ならどの部分かわかるとおもいます。丸で囲った点がそれぞれ対応し、三角がついている線は同じ直線です。最小限これさえわかれば全体を折り出すことができます。

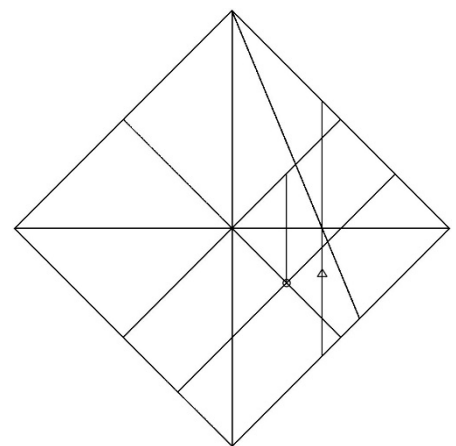
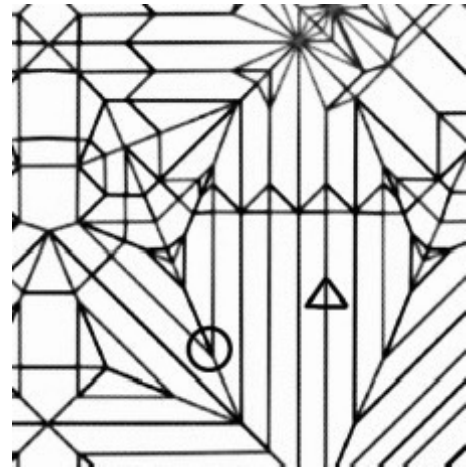
これらの点は、展開図をコピーした紙を大量に用意してひたすら折りまくって見つけました。ここまで来たら勝ったも同然です。別に展開図を調べるためなら定規だってコピー機だって何だって使います、本番の作品として折るときに折り紙的な手順で美しく折るというだけのことです。

ちなみにこれは余談なのですが、本を買った当時は伝令の展開図が載っているページまでがネット上に公開されていた。なら本買わんで良かったやん伝令ちゃんがかわいいからギリ許されてます。ただこの記事を書くにあたって再度ググったのですがどこにも見当たりませんでした。ネットで公開されていた展開図ページのスクショは手元に残っているので間違いではないはずなのですが、途中で公開されなくなったのでしょうか。それから Orist メンバーがそれぞれの作品を交換して折り合う動画が YouTube にあったはずなのですが、これも今調べても見つかりませんでした。動画内で伝令が折られていたから仕上の参考にしようと思ったのに。

ちなみにちなみにこれも余談なのですが、指先部分の展開図にミスがあり、理論上折り畳むことができません。ほんとにキレそう。かわいいからって何でも許されると思うなよ。まあ細かい部分ですので誤魔化せないことはないです。

というわけで展開図の分析が終わり、実際に大きな紙で折っていきます。展開図通りに折るだけなので特に何もありません。紙はお母さんが通販で買った服が包まれていた紙を使いました。薄葉紙っていう紙だそうで、薄くて丈夫で光沢があり、折り目がパキッとつくいい紙です。そして仕上げですが、この記事を書いている時点で仕上げをしていないので書けません。だいたいの見当はついていますが、やっていないだけです。地巻きの花ワイヤーと木工用ボンドを使おうかなと思っています。

「伝令」についての文章は以上です。お疲れ様でした。





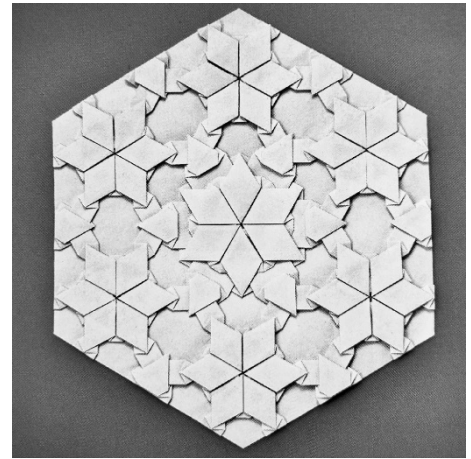
### 3.異なる六花の連結

この作品はテッセレーション(平折り)と言って、動物やドラゴンなどがモチーフの立体物ではなく、幾何学的な平面のパターンを折ったものになります。

平折りはかなり特徴的な構造をしており、「どこから折り始める」というものがありません。強いて言うなら全部の折り線を同時に折り進めます。幾何学的な模様の作品が多く、紙があまり重ならないので光に透かすときれいな陰影を見ることができます。またひとかたまりのパターンを繋げて繰り返すものが多く、理論上はパターンを無限に繋げることができたり、アレンジが多岐に渡ったりします。そしてコンピュータで設計することができ、数学と深く結びついた折り方でもあります。ペンローズ・タイルやフラクタル図形などを再現した作品もあります。自分は文系なのであんまり詳しいところはわかりません。

うーん、特に説明することがありません。構造自体は単純なので……。少し難しかったのは、正六角形をできるだけ紙の無駄なく切り出さなければいけなかったことと、基準として15等分とか60等分が必要だったことです。さすがに六角形の紙で60等分をするのは手間なので2<sup>6</sup>等分から端4列を切り取ります。

テッセレーションは幾何学的で綺麗な模様を折ることができ、折るときに面白い感触が楽しめるのでおすすめです。特に折り紙を精密に64等分する癖がある人なんかはハマるんじゃないかと。



作品名:異なる六花の連結  
折り手:イカソーメン  
用紙:ドリープ  
原作:山本陽平・三谷純  
出典:文様折り紙テクニック  
(山本陽平・三谷純/日本評論社)

### 4.イカ

オリジナル作品です。実はオリジナルのちゃんとした作品を考案するのは初めてだったりします。

注目ポイントはぺったんこなイカの上部とぬるぬるした脚のギャップです。もともとぺったんこなイカの上部とぬるぬるした脚のギャップを表現したかったので、無事ぺったんこなイカの上部とぬるぬるした脚のギャップが感じられる作品に仕上がって良かったです。

次ページに展開図を載せたので、腕に覚えのある人は是非挑戦してみてください。展開図を折ると脚のカドが2つ余るので、それはまあ、うまく誤魔化して隠してください。それから展開図は1辺13×2等分のグリッドに沿っているので、もう一枚を参考に13等分してください。



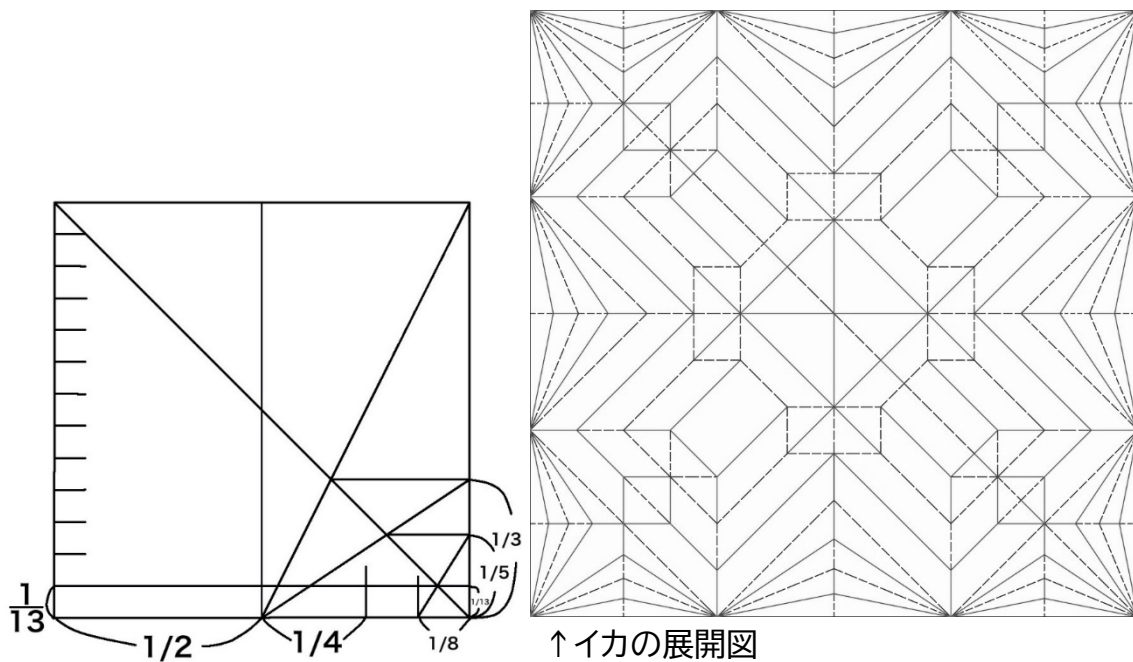
作品名:イカ  
折り手:イカソーメン  
用紙:折り紙用紙35×35cm  
原作:イカソーメン  
出典:-

## 5.おわりに

かねてからの願いだった折り紙サークルに入部し、自分の大好きな作品への愛を語り、オリジナル作品まで作ることができて、自分は非常に満足しています。他のメンバーの作品もみな素晴らしいものばかりなので、是非じっくりと鑑賞してみてください。

最後になりますが、拙文を読んで下さったこと、心から感謝しております。

それでは、良い折り紙ライフを。



## 4.あとかき

最後までお読みいただきありがとうございました。あとかきを担当します蕎麦です。展示や記事を楽しんで頂けましたでしょうか。初めての文化祭ということで至らぬ点もあったかと思いますが、これらを通して折り紙に少しでも興味を持って頂けたなら嬉しい限りです。早く部誌を作ってしまうとは思っていたのですが、気が付けば締切ギリギリとなっていました。来年はもう少し計画性を持ってやります。今年の部誌は来場者の皆様には展示作品をより深く感じ、また来場いただけなかった方々にも展示作品の良さを少しでも味わっていただけるようにと、みんなの作品紹介という形で制作してみました。来年は大きく形態が変化しているかもしれませんがその時も再びお読み頂けると幸いです。

さて、灘校折り紙サークル「折 on」を 23 年 10 月に設立し気がつけばもう半年が経ちました。半年も経ったのに私はプリントすら折れないくらい不器用なままですし、ひたすら沈め折りに苦しみられて居ますが、サークルのみんなに支えられて紆余曲折はありましたが文化祭まで何とかやっていくことができました。ありがとう。来年はもう少し成長して帰ってきます。

当サークルは設立時は片手に収まるほどの人数しかおらず先行きを怪しんでいましたが、すぐに沢山の人が集まり、灘校の潜在的な折り紙好きの存在を体感しました。折り紙に興味のある受験を検討されている皆さん、折 on があなたを待っています！

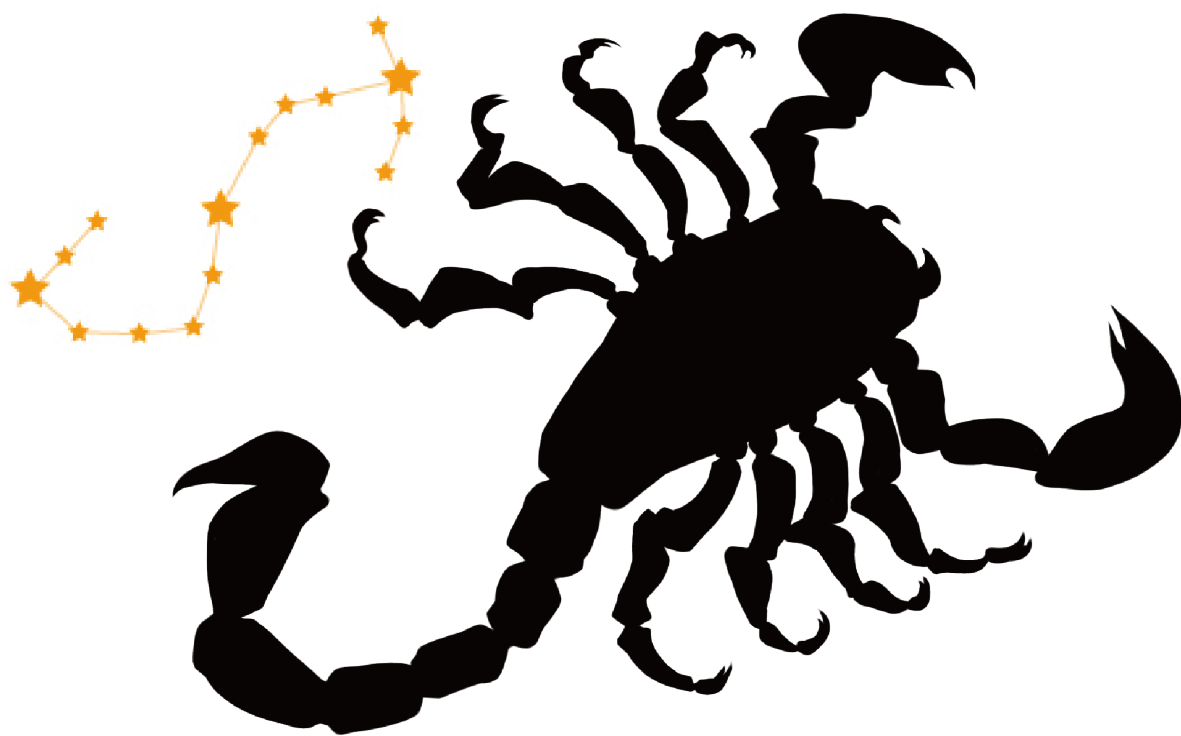
折り紙は非常に奥の深い文化です。一枚の四角い紙をドラゴンからバイクまでどんなものにだって変身させてしまいます。折り紙は幼い頃にやったきりという方も多いと思いますがこの文化祭を機に好きなものを折ってみてはいかがでしょうか。きっと新たな世界が見えるはずです。

改めて読者の皆様並びに我々の活動を支えて下さった方々に感謝申し上げます。今後も灘校折り紙サークル折 on をどうぞよろしくお願い致します。

灘校折り紙サークル会計担当蕎麦



オリオンの敵はサソリ



灘校折り紙サークル

**vol.1**

**2024年 文化祭**

普段の活動は下記の SNS で公開しています  
お問い合わせは origami@nada-sc.jp まで

twitter  
(@NADAorigami)



instagram  
(nadaorigami)

